

売薬の意匠あれこれ

北多摩薬剤師会会長、立川市薬剤師会会長代行 平井 有(ひらい たもつ)

その4 ■ 宇宙とアトム



「鉄腕アトム」のキャラクター、アトムとウランを使った販促品

今号では宇宙に関するデザインの置き薬や薬の販促品(おまけ)を取り上げます。
昭和30年から昭和47年にかけての約20年間は日本の高度成長期といわれています。その4年前、昭和26年4月に手塚治虫の「アトム大使」が雑誌『少年』で連載を開始し「鉄腕アトム」が大ブームとなりました。当時は、科学技術によって人類の未来は開け幸福がもたらされるという信仰心に近い信頼感が世界に満ち溢れていました。薬の業界においても科学技術の象徴ともいえる宇宙やロボットをモチーフとしたデザインが販促品や製品キャラクターに登場しました。その後、公害という単語の定着とともに環境汚染、地球汚染、オゾン層破壊、地球温暖化、異常気象などの知識が深まり、科学一辺倒の時代は終わりました。しかし当時の宇宙やロボットへの夢は小惑星探査機「はやぶさ」帰還の感動へと続き、本田技研工業の「ASIMO」やソフトバンクの「Pepper」、介護ロボットへの期待となり、今なお生き続けているように思います。

表 高度成長期の宇宙に関連する主な出来事

昭和26年(1951)	手塚治虫「アトム大使」の連載開始
昭和27年(1952)	手塚治虫「鉄腕アトム」の連載開始
昭和31年(1956)	横山光輝「鉄人28号」の連載開始
昭和32年(1957)	旧ソ連が世界初の人工衛星「スプートニク1号」の打ち上げに成功
昭和33年(1958)	アメリカが人工衛星「エクスプローラー1号」の打ち上げに成功
昭和36年(1961)	旧ソ連が世界初の有人宇宙船「ボストーク1号」の打ち上げに成功し、ガガーリン少佐が地球を1周し帰還
昭和37年(1962)	アメリカの有人宇宙船「マーキュリー6号/フレンドシップ7」が地球を3周し帰還
昭和38年(1963)	テレビアニメ「エイトマン」の放送開始
昭和41年(1966)	イギリスの人形劇による特撮TV番組「サンダーバード」の放送開始
昭和44年(1969)	アメリカの有人宇宙船「アポロ11号」が月面着陸に成功しアームストロング船長が人類として初めて月面に立つ
昭和49年(1974)	TVアニメ「宇宙戦艦ヤマト」の放送開始

人工衛星やロケットなどが描かれた売薬の薬袋



宇宙を題材とした大判(A2サイズ)のすごろく

